

## 多摩ニュータウン環境組合へのごみ処理支援要請について

### 1. 概要

2022年1月に本稼働する町田市バイオエネルギーセンターで、市内のごみを処理しきれない見込みとなりました。このため、2022年度から2025年度までの4年間、多摩清掃工場を運営する多摩ニュータウン環境組合に対して、町田市の可燃ごみ10,000t/年を処理していただくよう支援を要請しました。

### 2. 経緯

#### (1) 計画の策定

2011年4月に「町田市一般廃棄物資源化基本計画」を策定し、2020年度までにごみとして処理する量を40%削減することを目標に掲げました。

#### (2) 処理能力の不足

##### ① ごみ量の増加

町田市のごみ量は2018年度までは概ね順調に減量が進んだものの、2019年度には家庭系ごみを中心にごみ量が増加に転じました。更に新型コロナウイルス感染症の影響で2020年度においてもごみ量が増加しています。

##### ② 施設整備の遅れ

容器包装プラスチック等の資源化施設については、事業に必要な用地の確保や関係機関等の協議・調整に時間を要しており、2025年度以降の稼働となる見込みです。それまでは、容器包装プラスチックを可燃ごみとして処理せざるを得ないため、その分可燃ごみの量を減らせません。

以上の状況から、2022年1月には可燃ごみの処理能力不足(21,000t/年)が発生する見込みとなりました。

### 3. 新工場の運転計画変更による対応

町田市バイオエネルギーセンターにおいては、点検による焼却炉の休止期間を短縮することで、焼却量74,000t/年(計画比11,000t/年増)を確保するとともに、更なる処理量の増加策についても検討を継続します。

#### 4. 多摩ニュータウン環境組合に要請するごみ処理支援内容

(1) 期間

2022年4月から2026年3月まで（4年間）

(2) ごみ種・搬入量

家庭系可燃ごみ 最大 10,000 t/年

※搬入量については毎年度見直し、年間 10,000 t を上限に新施設で処理しきれない量とします。

(3) 対象地域・搬入車両台数

①横浜線以南の地域…ごみの中継施設であるリレーセンターみなみでコンテナに積み替えを行うことで、搬入車両の台数を少なく抑えます。

■搬入車両台数

曜日	搬入車両	平均搬入台数
月～金	10 t コンテナ車	6 台/日

②小山町…すでに搬入を行っている小山ヶ丘地区と隣接している地域で、週 2 回の収集のうち 1 回分を搬入します。

■搬入車両台数

曜日	搬入車両	平均搬入台数
水	3 t ごみ収集車 軽トラック	15 台/日 2 台/日

#### 5. 今後の取組

ごみ処理支援要請にあたって、多摩清掃工場周辺の住民の皆様と意見交換会を実施します。また、焼却が必要なごみの減量を図るため、容器包装プラスチックの資源化を全市域で早期に実施していきます。更に、市民・事業者への啓発強化、新たな品目の資源化など、ごみの減量を推進するための施策を強化していきたいと考えています。